

Yaomania

クセになる。八尾の人、まち、自然、うまいもん

【ヤオマニア】Vol.10 2015年・秋号

Yaomania Vol.10 秋号 2015年9月15日発行 発行(社)八尾市観光協会 八尾市北本町2-1-1 ベントプラザ20号 ☎072-839-7622 編集 1400円 定価600円 Printed in Japan

コーヒーショップで 逢いましょう。

とてつもなくバラエティ豊かでフレンドリー、
そして味わい深い喫茶王国・八尾の大特集。

ヤオマニアの横顔
辰巳兄弟(庭師)



<売主・販売提携(代理)> **住友不動産** <売主> **関電不動産** <設計・施工> **清水建設**

西日本最大タワー^{※1}「メガシティタワーズ」



**即
入居可!**
※諸手続終了次第
入居可

JR関西本線(快速停車駅)・JRおおさか東線(始発駅)
JR「久宝寺」駅
屋根付デッキで **直結** ^{※2}

八尾市立病院
屋根付デッキで **直結** ^{※2}

スーパー「ライフ」
商業施設敷地内1階 **直下**

JR「久宝寺」駅より
JR関西本線
(大和路快速)利用 **JR「天王寺」駅へ直通1駅5分** (6分) ^{※3}

3LD・K+N+WIC 専有面積/70.00㎡	4LD・K+WIC+SIC 専有面積/96.00㎡
3,290 万円	4,150 万円
高層階	トランクルーム 3.18㎡含む

※N/納戸 WIC/ウォークインクローゼット ※SIC/シューズインクローゼット
お問い合わせは 現地マンションギャラリー

0120-307-942

営業時間/午前10時～午後6時(水曜定休)・祝日除く
※1 総戸数1,499戸は、1995年以降の西日本(近畿2府4県を含む)以西で20階建以上のタワーにおける規模では最大となります。(平成27年7月現在MRC調べ)※2 JR「久宝寺」駅まで徒歩1分(全体敷地北西角よりJR「久宝寺」駅構外(自由通路)エレベーターを使用した改札までの距離・約74mからの徒歩分数計算)。八尾市立病院まで徒歩1分(「THE EAST」エントランスからの距離・約50mの徒歩分数計算)。※3 JR「久宝寺」駅よりJR関西本線(大和路快速)利用でJR「天王寺」駅へ5分(6分)直通※交通所要時間は日中平常時(カック内は通勤時)の目安で、時間帯により多少異なります。また、乗換・待ち時間を含みません。※距離表示については地図上の概測距離を徒歩分数表示については80mを1分として算出し、端数を切り上げたものです。



■全体・物件概要 ●名称/メガシティタワーズ ●所在地/大阪府八尾市龍華町一丁目4番1(地番) ●交通/JR関西本線「久宝寺」駅徒歩1分 ●用途地域/商業地域 ●建ぺい率/80% ●容積率/600%(総合設計制度適用による容積割増あり) ●敷地面積/17,850.66㎡ ●建築面積/11,282.10㎡ ●延床面積/183,778.83㎡(うち商業施設部分、約6,100㎡) ●構造・規模/鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上40階建(「THE WEST」・地上41階建(「THE EAST」)・地上2階建(店舗1・2階、駐車場1・2階)(「THE PLAZA」) ●建築確認番号/第H19確認建築GBRC00097号(平成20年2月22日)、第H20確認建築GBRC00082号(平成20年11月28日)、第H21確認建築GBRC0010号(平成21年5月1日)、第H21確認建築GBRC00049号(平成21年8月27日)、第H21確認建築GBRC00093号(平成22年1月27日)、第H21確認建築GBRC00099号(平成22年3月12日)、第H22確認建築GBRC00031号(平成22年10月12日)、第H22確認建築GBRC00040号(平成22年11月18日)、第H23確認建築GBRC00023号(平成23年8月31日)、第H24確認建築GBRC00023号(平成24年10月4日) ●総戸数/1,499戸(「THE WEST」705戸・「THE EAST」794戸) ●駐車場/1,200台(月額使用料:7,900円～12,600円) ●自転車置場/3,143台(平面式:1,682台/平面式・300円/スライドラック:1,318台/200円)、子供用/143台(月額使用料:100円) ●バイク置場/46台(月額使用料:2,000円) ●ミニバイク置場/87台(月額使用料:1,000円) ●分譲後の権利形態/土地:所有権の共有、建物:区分所有権 ●管理形態/区分所有者全員により管理組合を結成し、管理会社に管理を委託 ●管理会社/住友不動産建物サービス株式会社 ●建物竣工/「THE WEST」平成23年2月25日完成済、「THE EAST」平成25年1月31日完成済 ●売主・販売代理/住友不動産株式会社/国土交通大臣(15)第38号、(一社)不動産協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟、近畿住宅事業部 〒530-0005大阪市北区中之島三丁目2番18号 TEL:06-6448-7047 ●売主 関電不動産株式会社/国土交通大臣(3)第6379号、(一社)不動産協会会員、(社)大阪土地協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟、開発計画グループ〒530-6691大阪市北区中之島6丁目2番27号(中之島センタービル13階) TEL:06-6446-8811 ●販売代理・販売復代理/住友不動産販売株式会社/国土交通大臣(11)第2077号、(一社)不動産協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟、(一社)不動産流通経営協会会員 〒530-0005大阪市北区中之島三丁目2番18号 TEL:06-6448-6725 ●設計・監理/清水建設株式会社 ●施工/清水建設株式会社 ●THE WEST・THE EAST先着順受付概要 ●販売戸数/45戸 ●販売価格(税込)/3,290万円～5,180万円 ●間取り/3LD・K～4LD・K ●専有面積/70.00㎡～101.39㎡ ●バルコニー面積/12.98㎡～49.51㎡ ●管理費(月額)/13,958円～19,558円 ●修繕積立金(月額)/5,180円～7,510円 ●管理準備金(引渡時一括払い)/13,958円～19,558円 ●修繕積立基金(引渡時一括払い)/37,940円～489,490円 ●入居予定/諸手続終了次第入居可 ●取引条件の有効期限/平成27年10月31日 ●受付場所/メガシティタワーズマンションギャラリー ●受付時間/午前10時～午後6時(水曜定休) ●必要書類/印鑑(認印可) ●平成25年分・平成26年分の収入証明書・本人確認資料(運転免許証・健康保険証など) ●先着順につき売約済の際はご容赦ください。 ●広告作成日/平成27年8月14日



まちなみセンターの山根さん（手前）、近藤廣之進さん、田中良明さんがおいしそうにコーヒーを飲みながら談笑。左はマスター。シブい映画のような光景



右/店で揚げた熱々のトンカツをはさんだ「かつサンドセット」820円。自家焙煎のコーヒー（ブレンド360円）付きでお得感あり。毎日食へに来る若者もいる。サンドイッチのセットは640円〜 左/久宝寺中学校の斜め向かい。フレンチの名店【ボンシイク】も近い

●八尾市北久宝寺1-4-17 ☎072-993-9824 7:00～19:00 日曜日

地域活動には仲間と話をするための喫茶店は欠かせない存在ですが、久宝寺ではここがそうですね。店の並びのコミュニティセンターで会議をした後、場所を変えて話し合いの続きをするような、第二の会議室みたいな役割を担ってくれています。マスター（溯孝治さん）は見るとからにシュツとして接客がスマート。ご婦人方もよく来られますよ（笑）。常連のたまり場ではあるけれど、一杯

のコーヒーにすごく情熱を注いでいるマスターの噂を聞いてやって来るお客さんも多い。自家焙煎の挽きたてのコーヒーは文句なくおいしい！朝にこのコーヒーを飲んで、一日のスイッチを入れるのが日課です。溯さんはまちづくりのメンバーでもあるので、その仲間が地域に愛される店づくりに努力している姿を見るのは誇らしいですね。「フチ」は、地元

珈琲フチ 北久宝寺

「シュツとしたマスターの一杯がスイツチ」

あつまる人●山根清明さん（八尾市まちなみセンター）北久宝寺在住。定年を機に寺内町のまちづくり活動を。「会社人間でしたが、地元の友人ができて楽し」と



9席のみだがゆったり。モーニングやランチはなくコーヒーだけの直球勝負だ。「新聞もないの?と聞かれます(笑)。だんだんわかってきて、ゆっくりコーヒーを楽しむお客さんが増えました。日本のまちめぐりに貢献したいですね」と吉見潔さん

つい、通ってしまったあの一軒。

「落ち着いて本読んだり、人と話したりできる喫茶店がないよね」
 全国どこでもこんな声が……たしかに街中や幹線道路にはチェーンのカフェはあるけれど、店主の個性や顔、味が前面に出るような店は少ない。
 そんな中でも八尾は、国内屈指の喫茶店王国だ。
 それが成り立つ理由は、「顔」のある店が好きな客が多いからです。

取材・文=きむあつこ 中島 淳 写真=内池秀人 田村和成 藤岡みき子



右/サイフォンで淹れるコーヒーは300円からと某シアトル系も真っ青なお値段。味は言わずもがな 左/店主・香山八三（はつみ）さんと奥様の扶満子（ふみこ）さんの黄金コンビ。店名はアメリカ製のスピーカーから。カウンターとテーブルで思い思いに楽しむ



喫茶店がありそうにない場所に1981年オープン。当初は仕入れ先が口を揃えて「もう少し賑やかなところに移ったほうが」と助言したそうだが、今年で35年目!

●八尾市春日町3-1-7 ☎072-991-4949 8:30～18:30 無休(年3回不定休)

30年以上前の話ですが、八尾市の凄腕広報マンだった持田寿一（『大阪お笑い学』などを上梓、河内音頭や江州音頭のプロデューサーでもあった。1953～98）に「美味しいコーヒーを飲ませる店があるんや」と連れられたのが最初です。彼は新聞記者がネタに困った時にサツと出せる八尾の話題を普段からたくさん仕入れていたのです。この店に記者を呼んでは、とっておきの話を提供していました。記者もコーヒーが美味しくてイイ音の店です。持田の話を聞くのは楽しかったことだと思えます。彼が亡くなってからはここへ来るとうとうとも思いついてしまっているので、なるべく一人では来ずに誰かと打ち合わせしたりすることが多いかな。マスターもママも気さくで、お客さんとかみみ離れずの接客が上手だし、ゆつくりできま

或哲久 春日町

「美味しいコーヒーとイイ音が話をはずませる」

あつまる人●植田光彦さん（元FMちゃお代表取締役）地元の写真撮影、書き、歴史を調べる仕事を30年以上。今東光資料館にはこの人のコレクションも多数提供。



●八尾市山本町南7-13-29 ☎072-921-1566 11:00～18:00 水・木曜日

昨年、アリオ八尾1階のレッドコートで開催された「Wao! Yao! MyDo!」で偶然近くに「ひよこ珈琲」さんが出店されていました。僕のブースは妻が店番をして「ひよこの吉見さん、すごく人柄がいい」と熱く語るの、じゃ、店に行ってみようと訪ねたのがきっかけです。思いました、「人柄のよさ、わかるわ」。空間全体に彼のやさしさがにじみ出ているんです。上質の生豆を少しずつ自家焙煎し、注文ごとに挽いて淹れたコーヒーはものすごくいい香りで、手作りドーナツとよく合います。僕は緑茶派なので、家ではまったくコーヒーを飲みません。だからこそ外ではおいしいコーヒーが飲みたい。家から遠くてもよつちゅううけな



朝、その日の分だけ、焼きドーナツを作る。粉の配合を工夫し、おからと豆乳を混ぜて焼くので、しっとりモチモチ。写真はハチミツレモン味（味は2種類、月替り）。単品160円、ブレンドコーヒー 400円。セットで500円 同行のカメラマンはココのコーヒーを激賞しておりました ※Wao! Yao! MyDo!についてはP15参照

「この人の一杯」に人があつまる。

ひよこ珈琲 山本町南

「家では緑茶派の僕がハマった味と人柄」

あつまる人●五條悠斗さん（陶芸作家）末広町在住。ブランド「Smo（スモ）」を手がける。「ちよとよくてちよと良い」をコンセプトに、うつわ作りをめざす。



「山の写真は、山好きのお客さんが飾ってくれるんです。昔は店でスキーツアーを企画し、たくさんのカップルが誕生したもんです(笑)」と店主の下久保悦子さん



ご飯はこれで普通という、てんこ盛りの日替わり定食(この日は豚肉とこんにゃくのカレー炒め、山芋の塩焼き、味噌汁、漬物)は700円

●八尾市中田3-39-1 ☎072-993-4282
5:30~15:00 日曜、第1・3土曜休



信州にあってもおかしくない外観は、今回の表紙です

一度見たら忘れられない。なぜ街中に丸太風の山小屋が：と誰もが不思議に感じますよね。車で行く通るたびに、気になって仕方ありませんでした。入って見たのが25年前。ログハウスの雰囲気と美人のママさんの鹿兒島弁に癒され、今では週3回通う常連客になっています。僕は宮崎出身なので九州の方言はだいたい理解できますが、気兼ねなく宮崎弁全開で会話できるのがうれしい。ママさんが淹れるサイフォンのコーヒーはおいしいし、ランチも手作りのおかずが自慢で、ボリュームたっぷり。それ目当ての若いお客さんが多いです。八尾に住んで45年になりますが、ここはあったかい。最初言葉が荒っぽくて怖かったけれど、人情味があって親しみやすい。よその人間を受け入れる度量が広いでしょう。「山荘」のコーヒーで元気をもらい、八尾で生かされているなあと感じますね。



八尾おゆばの南隣、玉串川に並行する車道沿い。外の喧噪やストレスをここで遮断



右/残暑にうれしい水出しのアイスコーヒーとハーブカルピス。ちなみに、ドリンクはハワイイコナとブルーマウンテン以外すべて500円です 中/奥様手作りのレアチーズケーキとリラックスハーブティー。「上質!」という言葉がぴったり。自家焙煎珈琲豆とハーブ、自家製ケーキ販売もしている。 左/マスターの宮崎義孝さんは声楽、奥様の葉子さんはピアノと音楽一家です

●八尾市柏村町4-6-4 ☎072-924-0222 9:00~20:00 月曜休

喫茶 山荘 中田

「気になっていた山小屋は楽園でした」

引き寄せられた人●牟田次雄さん(時計、貴金属の販売修理業) 陽光園在住。月2回は八尾市役所地下で出店。「お客さんの喜ぶ顔を見ると辞められない」



ホットケーキ250円にチーズ&ベーコンがよく合う。シロップの甘さとも違和感なく美味しい。ハーブティー 400円とのセットは600円

●八尾市恩智北町2-132-2
☎072-933-6646
10:00~17:00 土日祝・水曜休



店内の手前にはテラスが。春や秋は気持ちよさそう。ママの永野和子さんは元・中学校の美術教師でもてなし上手

2 あなたも私も引き寄せられた二軒家。

かりんの木 恩智北町

「いくつになっても幸せのホットケーキ」

引き寄せられた人●西村由起子さん(八尾出身・八尾在住のコピーライター) 地元「ええネタ」を発信し、恩智愛溢れる冊子「マチオモイ帖」を自主制作。

小さい頃、何かと言うと祖父が喫茶店に連れてってくれました。ご褒美はホットケーキとミックスジュースみたいな感じ。今も恩智にあの頃のホットケーキはあるかなあ：と探したのですが、結局、幼いころに足を運んだらしき喫茶店には今はもうホットケーキがなかった。代わりはこの店を知り、以来すっかりファンになりました。お薦めのホットケーキはシンプルなのと、チーズベーコンのせ。2枚いただくとお腹いっぱいになります。注文してから粉を混ぜて焼いてくださるので少々時間がかかりますが、のんびりできる時にだけお邪魔するので気が急ぐこともありません。ハーブティーと一緒に頼むことが多いですね。恩智に住む同級生からは「かりんの木」は地元ママにも人気があると聞きました。今度は子どもを連れてってあげたいと思っています。こちらの小さい頃に食べたホットケーキの何十倍もの美味しさですが、私にはどっちも幸せな味がします。

バリアン 曙川東

「二人で行っても楽しめそうな開放感」

引き寄せられた人●渡瀬弘美さん(NPO法人やお文化協会勤務) 創刊以来40年通巻106号を誇る年3回発行の歴史文化誌『河内どころ』の事務局勤務。

外環沿いにある黄色い一軒家のお店です。最近はずいぶん大きなお弁当屋さんが出来たので目立たなくなりましたが、近鉄恩智駅の近くなので待ち合わせもしやすいですね。私は地元の民生委員の会のあと、ここで抹茶をトッピングしたパンケーキ(750円)を食べるのが何より楽しみ。一人で喫茶店に入ることはないのですが、ここなら一人でもゆっくりしたくなります。高い天井と明るい店内の雰囲気はリラックスできるし、マスターとママさんの人柄が素敵なので、安心して過ごせる。恩智にもいろんな喫茶店があって、それぞれが魅力的なんですよ。



上/使い込まれた木のテーブルにぼてりしたコーヒーカップが似合う 下/店主の高安辰男さんが1982年にオープン。松任谷由実の曲に登場しそうな一軒家。12:00~14:00はランチもある

●八尾市曙川東1-3
☎072-999-9941
9:30~19:00 月曜休



大きな吹抜のある2階から1階を望む。BGMはアメリカンポップスが主流で、ママの高安文子さん曰く「ユーミンもかけてほしいけど、マスターが許してくれなくて(笑)」

輪留都 柏村町

「マスターのコーヒーがコーヒーだと思えます」

引き寄せられた人●中島久典さん(日本野鳥の会・バードレスキュー協会会員) 北本町在住。休日は野鳥と珈琲を楽しむ、歴史好きの奥様と八尾のまち歩きも。

30年以上前ですが矢作神社の近くに住んでいて、教習所に行く途中に「輪留都」という喫茶店があったのでたまたま寄っただけです。「ストレートで飲むコーヒーってこんなに美味かったのか!？」と、それからお付き合いです。当時は拳法部に所属する大学生で、いかつい顔だったのでしよう。後からマスターに「ムシヨ帰りの人かと思った」と言われました(笑)。それから今の場所に移って名前も変わりましたが、

相変わらず通っています。1杯で終わることはなく、まずワルツブレンドを飲んでから「ガツン系」などリクエストしたら好みのものがスッと出てくる。コーヒーの腕前も素晴らしいけど、マスターの話の準備範囲が凄いです。聞き上手なので、客層が多彩です。大学教授やお坊さん、気象予報官、自動車整備工場の人、図書館司書…。私の鳥の話も含めてどんなボーでも受けて投げ返せる名人ですね。

3 八尾名物!?! 早起きモーニング。

喫茶商 小阪台町
 「しつかりした従業員が
 いる店は気持ちいい」



ハムと卵、野菜を挟んだボリュームたっぷりのサンドイッチとゆで卵、コーヒーのセット460円。コーヒー単品で410円



右/ママの長谷川京子さんと次男の京介さん。りりしい男子と水を向けるとお母様曰く「大衆演劇に出てほしかったんですけど(笑)」。確かに似合いそう! 左/長谷川さんのママ友は入り口近くに、常連さんは奥(写真)に座る。牧江さんお気に入りの席は一番奥のテーブル

●八尾市小阪台町3-1-17 ☎072-923-9960 6:00~17:00 無休

ムーンカフェ 陽光園
 「楽しませる、美味しい
 ものを出す、両方熱心」

朝5時からモーニングをやっています。近所で定期的にライブをしているカフェ「DONNA」の姉妹店で、ドンナで明け方までお酒を飲み、締めムーンでモーニングというパターンも。体いいのかわかりませんが(笑)。もちろん、出勤前や夜勤明けのお客さんのほうが多いです。店のスタッフは演劇やお笑い、音楽をやっている芸達者な面々で、ノリがいい。イベントに力を入れていて、月1回「ムーン寄席・ランチ付き1000円」やピアノとバイオリンの生演奏などの「絆ライブ・ケーキセット付き1040円」を実施。こんな金額で食事と楽しい時間を過ごせるんですからお得ですよ。フードの研究も熱心でガレット(仏郷土料理/そば粉のクレープ)やフランゼジーニャ(ポルトガル/ハンバガーのグラタン風)など目新しいメニューが食いしん坊を喜ばせます。



八尾ではここだけ! モーニングに「全粒粉ガレット」が選べる。生地の周辺はサクサク香ばしく、真ん中はシメジ、ベーコン、溶けるチーズがたっぷりです。卵をつぶしながらトロトロに。ドリンク付き650円



上/朝担当で、りんごちゃんのお愛称で呼ばれる愛くるしい笑顔の橋本佑美さん。「いってらっしゃい」「おやすみなさい」両方の挨拶がこの店の面白さ 下/カウンター奥に設置の大型テレビで映画や店のイベント映像を流しているため、1人で来店しても退屈しない

●八尾市陽光園2-6-32 ☎072-924-3515 5:00~24:00 水曜休

4 光を放つ! 類いまれな店主キャラ。

ザ・ミニョンヒ 刑部
 「浮世離れ具合が
 たまりません」



哲学っぽい寡黙な方かと思いきや、コーヒーについて饒舌に語る店主の田中完枝(かんじ)さん。お客さんに若い頃の写真(昔のアイドル風!)を配るお茶目な一面も。話がはずむと自作の詩を朗読。「来るたびに新しい発見がありますねえ」と中谷さん(左)

光を浴びた人 ●中谷篤子さん(主婦) 東山本町在住。「かつては淀屋橋で働くパリの01でした(笑)。編み物や食べ歩きにこそし、健康増進に関心をもつ。

数々の伝説が語られる、八尾で一番有名な喫茶店がこでしよう。樽で20年間熟成させたコーヒーが40ccで10万円。それを注文したら、重要文化財級の貴重なカップ(マイセン・染付金彩花鳥文)で出てくるそうです。コーヒーはすべてマイセン、水はバカラなどの器で出るので、割ってしまったらだないしよ、と飲み終わるまで緊張します(笑)。店名は店に飾られたドイツ製バイクの名前で、日本でも希少品だとか。真空管を用いた800万円もするオーディオは、歌手が目の前で歌っているような迫力があり、どこもかしこも浮世離れしているのが愉快ですね。私は気分転換に月に一度、シルクロードという創作コーヒーを飲みます。まったく濃厚な味と香りは素晴らしい、二度飲むと忘れられない味。そのものですね。マスターはコーヒーをきわめてはります。高いけれどぜひ一度。



上/ネルで4時間かけて1kgの豆からカップ1杯分を抽出し、シロップを入れ、生クリームを浮かべたシルクロード(Sサイズ)1,300円。このような創作抽出コーヒーと普通のコーヒー(1,100円~)の約100種のメニューがある 下/これがウワサの樽熟成コーヒー。カップもオーラを放つ

●八尾市刑部2-386 ☎072-996-0300 6:00~翌2:00最終入店 無休



笑顔がキュートなママの西川淳子さん。カウンターは八尾商店会連合会理事長の林滋氏(手前)を始めオジサンたちが占拠していたが、女性多数になった瞬間に、テレビは「韓流」に切り替わるようだ

右/モーニングは12:00まで。パンはママが昔から晶屋にしていた堺の店から。新聞は日経からサンスポ、雑誌は週刊現代から家庭画報、文藝春秋まで 下/筆師匠のポスターは店の外と中に。かつての店は「サン」という名前だったが「スター(師匠)がいるんやからスターを加えました」



●八尾市本町5-8-2 ☎072-994-9840 9:00~17:00 水曜休

サン☆スター 本町
 「場と人を明るくする
 ママさんの力が凄い」

ウチの奥さんの店です。彼女は八尾西武や徳徳道でも喫茶店の店長をしていましたが、いつかは自分の店を持ちたいと思っていたのでしょう。7年前、この店の前で家内がお世話になつてくる不動産関係の人(息子さんの少年野球チームの監督でもあった)にたまたま会い、「ここで店してくれる人いないか?」と持ちかけられたことがきっかけで、開店することになったようです。私も「代目美好家摩」

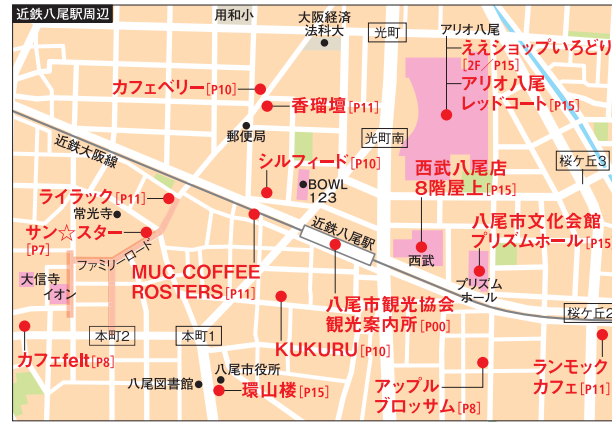
光を浴びた人 ●美好家摩さん(音頭取り) 八尾本場河内音頭連盟会長) 山本町在住。「これも音頭とり講座」の指導にも熱心で、八尾の伝統芸能を引っ張る。

を継いだ頃だったので、お互いにいい転職でした。今では週に1~2回、打ち合わせや連盟の会合を兼ねて利用しています。やっぱりママさんのキャラあつての店ですね。年配の人は「元氣もろて帰るわ」という感じで楽しんでるし、その気持ち分かります。ここ、河内音頭の聖地である常光寺さんの店子なんです。私も今年初めて常光寺の櫓(8月23・24日)が上がりました。不思議な縁ですね。

八尾の喫茶と秋の散策MAP

コーヒーが美味しい季節です。
P15の秋～冬カレンダーと組み合わせて
芳醇な喫茶王国・八尾をお楽しみください。

地図=マップデザイン研究室



Special Column 八尾で45年間ひとりで 珈琲専門店を続けるということ。

久宝寺の渋川町1丁目交差点近くに「喫茶ニュー宝」がオープンしたのは昭和46年(1971)6月。大阪では淀屋橋のMJBや難波のアラビヤなどが人気だったが、当時の八尾には「純喫茶」はあっても珈琲専門店そのものがレアだった(大阪拠点の「MUC」がパイロットショップをつくった年)。今日までずっと手塚マサエさんが一人カウンターに立ち、コーヒー好きを迎えている。



「もともと人とおしゃべりするのが嫌いで洋裁の仕事をしていました。けっこう稼いでたんですよ。転機は母親のように慕う10歳上の姉が大阪市内に開いた喫茶店に行ったことで、スイッチが入った。「自分もやってみようか」。姉の店や他店で勉強し、運良く今の場所に物件も見つかった。けれど洋裁で順風満帆だった彼女の決心には、夫をはじめ周囲が猛反対。「アカンかったらこの店で洋裁したらええんや」と聞き直り、開店にこぎ着ける。その日の早朝から夜7時まで客が途切れず休みなし。「珈琲専門店が珍しかったから(ディスプレイの)右から順に飲んでいかれる人もいました」。ヒット曲の歌詞に「喫茶店」「コーヒー」が頻出していた時代である。

店は45年目。外観こそ歴史を感じるものの、内装はこざっぱりとしていて、それだけの年月を重ねた感じがしない。コーヒーの味も非常にバランスがよく、「順にいろいろ試したい」お客様の気持ちがよく分かる。でも人と話すのは苦手だったのでは?

「話を聞くのは好きなのですが、話を合わさないといけないしんどさがありました。でも今は嫌なことはイヤだと言えるし。それに一つのことをコツコツやるのが自分の性に合っていたのだと思いますよ」。店名は姉が開いていた店から取った。「だから「ニュー、なんです」

取材・文=中島淳

喫茶ニュー宝
●八尾市久宝寺1-2
☎掲載不可
7:30～16:30(土曜は～12:00)
日・祝休

アメリカンスタイルのバイクで
来られる常連さんもいる



生花を飾り、コーヒーを淹れる…45年間変わらぬ所作。豆の種類を書いたプレートがシブイ!

ふとん太鼓
だんじり

マジョーラム (小阪合町)

占いを気軽に体験してほしいと占術士の望友(みゆう)さんが3年前にカフェを開いた。占いは四柱推命、タロットカード、九星気学、手相の4種。プチタロットセット(タロット10分とドリンク)1,000円、プチ四柱推命(四柱推命15分とドリンク)1,500円と、リーズナブル。「心の揺れを整理してくれるカウンセリング的な要素もあり、気分がすっきりしますよ」と望友さん。ドリンク400円(コーヒー、ハーブティー)のみでもOKだ。

●八尾市小阪合町2-2-2
☎090-9711-3590(予約可)
12:00～18:00 不定休



ちょっと怪しげな雰囲気ながらもいい感じ。お客様の9割以上は女性。試しに占ってもらったが、だんだん真剣モードになってしまった(笑)。

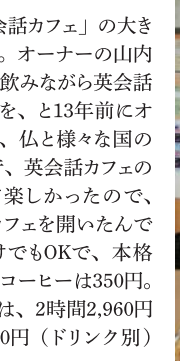
お茶が主役か、
こつちが主役か。

英会話

アップルブロッサム (東本町)

住宅街に「英会話カフェ」の大きな看板が目を引く。オーナーの山内千恵さんはお茶を飲みながら英会話に親しみきっかけを、と13年前にオープン。「米、豪、仏と様々な国の先生がいます。昔、英会話カフェのレッスンを受けて楽しかったので、お手頃な教室とカフェを開いたんです」。ドリンクだけでもOKで、本格的なオーガニックコーヒーは350円。レッスンの時間帯は、2時間2,960円のレッスンを1,000円(ドリンク別)で体験可能。

●八尾市東本町5-5-13
☎072-925-0576
(食事やドリンクは要予約)
12:00～19:00
日曜・祝休



講師のプリス・ギルベルトさんは「日本は安全で食べ物なんでもおいしい。とんかつの[マンジュ]に行ってみたい(笑)」。お茶をしながらレッスンするので、自然と会話がはずむと好評。火・水・木曜はヘルシーランチ700円も

カフェ felt (本町)

市役所近くの通称「仏壇通り」にヴィンテージ雑貨が充実の、おしゃれなカフェが出現した。昭和の元画家村屋さんを改装した店づくりは、昔のまちなみにすっかり溶け込んでいる。「古民家でカフェを開くのが夢でした。周囲に寺社が多く、まちの雰囲気も感じてほしいですね。手作りにこだわっているの、料理やスイーツもぜひ」と店主の寺島真理子さん。落ち着いた店内でくつろいでいると、八尾にいることを忘れそうになる。

●八尾市本町4-3-6 ☎072-926-7212
9:30～18:00 水曜、第1・3日曜休



2階では寺島さんが集めたレトロ感たっぷりの日本やヨーロッパの雑貨を販売。[クロックムッシュ]はホワイトソースとハム、モッツアレラチーズをはさみ、フレンチトーストにしたもの。パリの味を再現。日替わりスープ、サラダ、ドリンク付き700円



カフェ ベリー
●八尾市北本町2-11-15
☎072-999-0607
8:00～19:00 不定休

ダイドコ帖
八尾市山本町南8-14-5
☎072-926-9379
11:30～19:00
(日・祝は正午～18:00)
月・火曜&第1・2日曜休



KUKURU
八尾市東本町3-2-29
☎072-989-7364
9:00～19:00
月曜休

シルフィード
八尾市北本町2-4-6加藤ビル1F
☎072-923-4577
9:00～20:00
(土・日・祝～17:00)
月1回不定休

ミカド
八尾市山本町南1-6-8
☎072-922-7478
8:00～18:30
月曜・第3日曜休

ポタジェ
八尾市山本町南6-8-23
☎072-933-8820
12:30～17:00
月曜&第2・3金・土・日曜休

ランモックカフェ
八尾市若草町4-1
☎072-970-6134
11:00～23:00
火曜休

香瑠壇
●八尾市北本町2-9-13
☎072-996-0439
8:00～19:00
(バーガーは11:00～)
火曜休

かるだん
香瑠壇 (北本町)

バーガーは佐世保ではなく
八尾だと言いたくなる名店。

●「アメリカ風の店内でハンバーガーを類張ると子供に戻ったような贅沢な気持ちに」明石市 H.Sさん ●「コーヒーを楽しく学ぶ講座をしたりするのもさすが」久宝寺 H.Sさん ●「喫茶店でもありながら実に美味しい」相生町 H.Mさん



二代目店主・田村実さん(左)曰く「親子三代で来られるお客様や、30年ぶりに帰ってきて『まだあったわ!』と懐かしんでくれる人もいらっしゃいます」

ミカド (山本町南)
昭和39年(1964)創業。
「正統派駅前純喫茶」の草分け。

●「飴のような透明なソースがかかっているオムライスが美味。昭和レトロな外観も、子供の頃に母親に連れて行ってもらった喫茶店を思い出します」服部川 A.Kさん

ホットドッグのような形のオムライスは創業時から。700円



ポタジェ (山本町南)
店主はハーブ教室の先生。
ここからハーブティーが広がった。

●「モッコウバラに包まれた建物が素敵です」山本町南 M.Hさん ●「ゆっくりできて気分がいい」相生町 H.Mさん



2km3kmは平気で、自転車で来店するマダム多し

ランモックカフェ (若草町)
今風のカフェだが性別や
年齢を選ばぬ懐の広さがある。

●「アンディ・ウィリアムスが亡くなったという話になった時、彼の音楽を流してくれた。その心配りがうれしかった。貸切もできるので、使い勝手がいい」東弓削 E.Nさん



広い車道沿いにあるけれど、くつろげる雰囲気満点

ダイドコ帖 (山本町南)
「八尾のカフェは凄い!」と
言われるきっかけとなった店。

●「全国区のカフェと並んでもひけを取らない。美味しいベーグルやクッキー、おしゃれな店内、店主さんの人柄溢れる手書きのメニュー…でも静かな雰囲気がいいので流行ってほしくないけど(笑)」末広町 Y.Gさん ●「ゆったりしながら店内を眺めて楽しめる」相生町 H.Mさん



木のテーブルと自然光でゆっくり味わいたい自家製ベーグルとスープのセット980円

シルフィード (北本町)
近鉄八尾駅西口に近く、
使い勝手のいい店として長い人気。

●「大勢で入れてコーヒーの美味しい店は最近少ないように思います」荘内町 T.Mさん ●「店主自ら珈琲の研修を受けて資格を取り、厳選した豆を提供するスペシャルティコーヒーがお勧め」久宝寺 H.Sさん ●「味よし、リラックス感よし、サービスよしで一人でも打ち合わせでもココ。特にカレーは最高」芦屋市 A.Nさん



オーナーの加藤光子さんは「ここは1970年代に[ボンジュール]という名前で開催し、子供のころ親と行きました。何代か経営が変わり、2001年から[シルフィード]として引き継ぎましたが、初代の方がつくってくれた空間を生かしつつ、今の人が楽しめるように味もサービスも工夫していきたいです」と語る



自慢のスペシャルティコーヒー(500円～)を飲むときはゆっくり過ごしたくなる



地元発メニューとして昨年から登場の「北本町たまごサンドイッチ」560円。「卵焼きの担当は夫(田頭茂実さん)。私はこんなに焼けません(笑)」と真理子さん

カフェ ベリー (北本町)
「料理がおいしいカフェ」として
遠方からのファンも集める。

●「ママ友の店ですが身びいきではなく何でもおいしい。お客さんとの距離感がよく、うるさくなく、ほったらかしでもない。息子もファンです。外観はメルヘンチックですが、味はホンモノ」

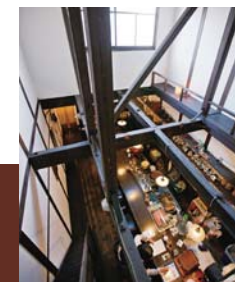


久宝寺 K.Kさん ●「ぜひ食べたいフワフワのたまごサンド」西山本町 R.Mさん 「味も人柄もナイス!」桜ヶ丘 M.Hさん

トマトソースのパスタは、風味豊かなチーズ、パルミジャーノ・レッジャーノを直前に削る。パン、サラダ付き900円

KUKURU (東本町)
店主はWao! Yao! MyDo! (P15)の
主催者でフットワークが軽い。

●「店の人との心の距離感が近くてくつろげる。ライブやイベントもいろいろやっているの楽しい」竹瀬 H.Cさん ●「長屋の店内がおしゃれ。夫婦漫才最高!」末広町 Y.Gさん



2階まで吹き抜ける高い天井がリラックス感を倍加

取材:文々きむあつこ 中島淳 写真:内池秀人 田村和成 藤岡みきこ

店好きが推す「八尾初心者にお薦めの喫茶」はココだ。

季節のピンポイントレッスン 伝統的なため池浄化が ニッポンバラタナゴと 高安の再生につながる。 ドビ流し

●11月8日(日)10:00~
@大阪経済法科大学花岡キャンパス「ふれあい池」
●八尾市楽音寺6-10 ☎072-941-2647
(大阪経済法科大学地域総合研究所事務室)



水位の下がった池に入り、ニッポンバラタナゴ(地元では「キンタイ」)やヨシノボリを捕獲する。同研究会代表の加納義彦さんは「地域再生のカギになる」と期待

高安の山麓には全国の研究者が熱い視線を送る希少な淡水魚「絶滅危惧ⅠA類指定のニッポンバラタナゴ」が生息している。繁殖期になるとオスの体がバラ色に染まることから名付けられた日本固有種で、西日本全域にいたが現在本州ではほぼ高安だけという状態に。

「NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会」は保護活動の一環として、昔ながらのため池の浄化技術「ドビ流し」に注目。これは池の栓を抜いて水を入れ替える作業のことで、池干しとも言う。

底に溜まった泥(有機物)を田畑に流すことで土壌が肥え、捕獲した魚やエビを食用するなど、人と自然が共生する営みでもあった。

大小400のため池がある高安では農業用水として使う池の浄化を繰り返してきたが、農家の高齢化等で人手不足となり、ドビ流しは皆無に等しい状態に。同研究会はため池の水質維持がニッポンバラタナゴをはじめとする地域固有の生物多様性の環境保全につながると思え、その効果を科学的に証明。

「ドビ流しの継承」は2012年日本ユネスコ協会連盟のプロジェクト未来遺産にも登録された。秋に行われる「いきいき八尾環境フェスティバル」(環境アニメイトイッパやお主催)で見学しよう。取材文「きむあつこ 写真」内池秀人



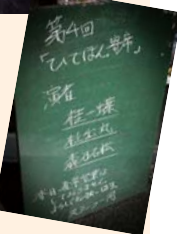
手探りで泥の中のドビ貝を探するため、見つけたときはうれしい。昨年参加した大学生の大橋一樹さん「疲れたけれど、すごく感動しました。昔の人は自然と仲良くする方法を知っていたんですね」

駅チカ観光名所 巷で話題の宴会付き落語会。 笑って飲んで、愉快的日曜日! 居酒屋ひでぼん。(近鉄久宝寺口駅)



桂一蝶さんは、70年代に一世を風靡した2代目桂春蝶師匠の得意ネタ「昭和任侠伝」で会場を笑いの渦に!

域寄席がないので落語好きの方に育てていただけたり」
ひでぼん寄席は2か月に1回をめぐり、日曜夕方開催。落語3席を堪能したあと、午後6時から料理+飲み放題の飲食タイムが始まる。乾杯と同時に「楽しんで」



落

語には酒にまつわるネタが多い。噺家が呑む仕草を見るとつい一杯ひっかけたくなるものだが、そんな願いを叶えてくれる地域寄席が「ひでぼん寄席」だ。「居酒屋ひでぼん」店主の上原英義さんは語る。「2階の座敷で何か面白いことをしたいと常連さんに相談したら落語会はどうや、と。さっそく天満天神繁昌亭に行って初めて生の落語を聴いたら、めちゃめちゃ感動しました。まぐらで座を温め、本題でどっと沸かす。接客の勉強にもなります。八尾にはあまり地に安くていい」という歓声があちこちに。近所に住む宮浦肇さんは落語好きの先輩に誘われ参加した。「お家さんのハリの声にびびり。大笑いしました」とすっかりハマった様子だ。知らない人同士の話が弾むなか、お家さんたちも普段で同席し、ファンにはたまらない近さ。「この寄席は僕らも楽しみ。みなさんと触れ合うのも勉強なんです(笑)」と一蝶師匠。明日への活力がみなぎることに間違いなしの日曜日だろう。

居酒屋ひでぼん。
●八尾市東久宝寺1-5-34
☎072-992-9996
17:00~翌2:00
日曜日
※ひでぼん寄席(17:00~)は木戸銭4,000円(終演後の宴会含む)。次回は10月に予定。要予約



ヤオマニアの横顔 庭師 辰己兄弟 「人と自然が仲良くできる 心地よい庭の世界は もっと広がりますよ」



事務所である郡川のGREEN SPACEをバックに、右が兄の耕造さん「某大学の造園科を受験したら面接でネチネチ言われ、進学をやめました。高校卒業までの間、家でバイトしたらお金がもらえて(笑)その流れで働き始めたというわけです」。弟の二期さん「高校の3年間はずっとラグビー(フ兰卡ー)ばかりやってました。卒業したら家の仕事をするのが当たり前だと思っていましたね。僕ら二人、兄弟やけど似てないでしょ(笑)」

思い浮かべる人がまだ多いですが、同世代の人は昔みたいに「この松50万」なんてことには関心がなく、トータルに庭を見ておられるようですね。果樹を植えることを好まれたりもします。

50万円でも庭はつくれるんですよ。クルマ2台買う前に、1台減らして庭はどうですかと言いたいですね。マンションの1階でも両手を広げたスペースがあれば落葉樹を1本植えるだけで世界が変わる。そこにテントを張って寝るだけでも、自然の力をもらえます。そういう意味では良い庭を活用してないもったいないお家がたくさんあるのが、つくづく残念だなと感じますね。公共施設の庭の可能性もどんどん増えています。

この辺り(郡川、服部川、山畑など高安山麓)は昔から造園業や農業が盛んで、学校の同じクラスの父親がサラーマンでスーツを着ているというのが、逆にスゲーという感じでした(笑)。古墳も多い。生まれ育ったころなのでそれが特殊だということが分らず、これが普通やろという感じでしたね。

造園の羽振りが良かった頃は、木や石などの材料一つ買うのに順番待ちで、ウチでも父親が外車に乗ってました。今は年末の忙しい時期を除いては庭師の仕事が減った。廃業するところも増えたり、ハウスメーカーの仕事をして庭師も、というパターンも多いんです。

「庭師一本」の転機。

私たちが家業を継いで仕事を始めた頃はハウスメーカーの外構工事も手がけていました。けれどそれがだんだんしんどいなあと思うようになってきた。お客さ

んでなく使ってくれる会社の顔色を見て仕事せなアカンのが耐えられないし、見積の価格勝負は疲弊します。庭師だけで食べていくのはホンマに無理なのか? やってみたいと分からんし、まずはやってみようと庭師一本に絞ることにしました。それが2008年ぐらいのこと。同世代にもそんな人たちがいたので「この人らができるんやったら、僕らでも何とかなるんやろか」と。

けどそれから先、1年間は仕事が来なかった(笑)。庭の予算って、家をつくるときに一番最後に組まれるから大変なんです。注文があればどこでも行きました。一番遠かったのが愛知県の三河安城：あと岡山、彦根、姫路、石川県の小松とかへ石や木や土をトラックに載せて行くわけです。そう考えると庭師の仕事つ

てホンマに儲からん商売やなと身をもって分かりますね(笑)。

ブログやSNSで発信したり、建築家の人に働きかけたり。同業者たちと立ち上げた「ニワブラス」のワークショップなどでいろんな人たちとつながりができ、可能性が広がってきました。

庭で「度寝泊まりしてほし。」

全体の景気は良くなって、緑を必要とする風潮は確実に高まっています。「庭」っていうとすぐに昔の日本庭園を

最近、地元のことをよく考えます。山に向かう単線の電車なのに、近鉄信貴山線と阪急甲陽線は何でこんなに違うねん(笑)と。どちらも自然に恵まれたのどかな場所だし、こっちも人が気軽に寄れるところが増えたらいいなって思いますよ。ヤオマニアでええ企画考えてください。夜景もきれいでですよこの辺は。

取材文「中島淳 写真」藤岡みきこ



ニワブラス「じろーのワンダフル探庭団」で、天王寺公園内にある小川治兵衛作の慶沢園(旧住友家本邸庭園)の見方を案内。「庭の面白いエピソードに関心を持ってくれる若い人が増えましたよ」

たつみきょうだい
作庭会社GREEN SPACE (郡川3-75)代表。事業の傍ら、2012年に同業者たちと新しい時代の庭の可能性を提案する「ニワブラス」を立ち上げ、街中や山林などでワークショップや見学会、講演会を行う。2014年11月「辰己兄弟」として八尾市文化新人賞を受賞。兄・耕造は1976年9月、弟・二期は1979年3月生まれ。

※八尾のプリズムホールで12.13(日)に苔玉ワークショップを開催。辰己兄弟が提案する世界を生で体験してください。詳しくはGREEN SPACEのサイトで。http://green-space1991.com/

ヤオマニアの心ふるわす秋～冬カレンダー

※会場はP8-9のMAPでお確かめください。
お問い合わせ先が特にならないものは八尾市観光協会まで☎072-997-6226

9.19(土)・20(日) 河内木綿まつり

→市内の各会場に於いて河内木綿の展示や綿織り、糸紡ぎ体験、河内木綿関連商品の販売など
●藍工房・村西(19日のみ) 10:00～16:00
→型彫り、染め、織りの体験(要受講料・要申込)。綿織りと糸紡ぎ体験は無料、参加自由
☎072-923-1246(NPO法人河内木綿藍染保存会)
●環山楼(19日のみ) 10:00～16:00
→河内木綿のパネル展示と綿の種の配布
●高安コミュニティセンター(19日のみ) 10:00～16:00
→縞柄の復元作品と創作作品の展示。綿織りと糸紡ぎ体験。河内木綿伝習所の主催
●PicaPica(19日のみ) 10:00～16:00
→綿畑の見学
●安中新田会所跡旧植田家住宅
→寺尾和一郎氏寄贈木綿資料と道具の展示。綿織りと糸紡ぎ体験
●ええショップいろどり 10:00～21:00
→河内木綿関連商品の販売
●八尾市立しおんじやま古墳学習館 10:00～12:00 13:00～15:00
→綿を使った工作体験
●八尾市立歴史民俗資料館
→綿摘み体験、河内木綿の展示、河内木綿関連商品の販売。藍の乾燥葉染めセットの配布(先着30セット・要観覧料)。20日は上記以外に綿織りと糸紡ぎ体験のほか、藍の乾燥葉染め体験10:30～12:00、14:00～15:30(要参加費・要申込)
☎072-941-3601(イベント全体の問い合わせ:八尾市立歴史民俗資料館)

9.23(水・祝) わたの収穫祭

●中央環状線佐交交差点の綿畑 10:00～12:00
→綿摘み、綿織り、糸紡ぎなど
☎072-923-1246(NPO法人河内木綿藍染保存会)

9.26(土)・27(日) 八尾木民芸つくりもん祭り

●八尾木地区
→収穫した野菜や穀物で住民が創作した作り物を民家の軒先や庭に展示して五穀豊穰を願う

10.25(日)・11.8(日) いきいき八尾環境フェスティバル

●西武八尾店8階上、アリオ八尾(10.25)
●大阪経済法科大学花園キャンパス(11.8)

10.31(土)・11.1(日) きんてつ鉄道まつり2015

●高安車庫 10:00～16:00(1日は～15:00)
☎06-6775-3514(近畿日本鉄道鉄道本部運輸部事業課)

11月 第62回八尾市文化芸術芸能祭

●八尾市文化会館(ブリズムホール)
俳句・短歌部門 11.1(日)
展示部門 11.5(木)～11.8(日)
→手芸、絵画、書道、写真など。
菊花の部は11.4(水)～11.8(日)
芸能部門 11.7(土)・11.8(日)
→ダンス、日本舞踊、演奏など上演
☎072-924-3876(八尾市生涯学習センター)

11.8(日) Wao! Yao! MyDo! 音あそびとモノづくり市

●アリオ八尾1階レッドコート 13:00～
☎072-989-7364(cafe KUKURU)

●高安新能


10.10(土) 薪能
玉祖神社境内 17:00～19:00

11.7(土) 八尾・高安と能の関わりを探る講座
北高安小学校 13:00～15:00


☎090-6550-8044(高安能未来継承事業推進協議会)

秋の「八尾探」は音楽ざんまい二夜。八尾探

八尾出身の広沢タダシ、本間昭光によるトーク&ライブの2デイズ。



シンガー&ソングライター
の地位を確立、SMAPなどへの楽曲提供にも声を
見せる広沢タダシ



キーボーディスト&ソングライター
でプロデューサーとして
も音楽シーンを牽引する
本間昭光

本間昭光×広沢タダシ 八尾人トーク 10.31(土) 18:45
八尾で音楽フェスを実現したい! 八尾の音楽&芸術シーンを一緒に盛り上げよう。
会場/八尾市文化会館ブリズムホール練習室2 料金/無料(抽選)※定員 30名
主催/八尾市観光協会 協力/八尾市文化会館ブリズムホール

コンサート 八尾の音楽家「八尾ミュージックフェスティバル vol.0」 11.1(日) 17:30
出演/広沢タダシ、本間昭光 会場/安中新田会所跡 旧植田家住宅
料金/自由席4,000円(税込/整理番号順入場) ※定員60名(抽選)
主催/八尾市観光協会、NPO法人 HICALI

申込方法/メールの受付のみ。件名に「10.31トーク」or「11.1ライブ予約」と記入し、お名前、メールアドレス、枚数(1人2枚まで)、年齢、ご住所(トークの場合、音楽・芸術活動をされている方はその内容(部活動含む)、何でこのイベントを知ったか、本間昭光&広沢タダシに聞いてみたいことをプラス)……を明記してinfo@yaomania.jp までお送りください。※両方申し込まれる方は、必ず1通ずつお送りください。締切/10.15(木)17:00
※10.17(土)にメールで抽選結果を通知 制作/Atomic Monster Records/bluesofa

表紙「山小屋の喫茶店」

八尾市内には個性豊かな喫茶店がいくつもあります。商店街や幹線道路沿い、住宅街の中にも隠れ家的なお店があります。外観を見ているだけでも店主のこだわりが伝わって楽しいのですが、一歩足を踏み込めばさらに新たな世界が広がります。八尾の人の気質でしょうか? 気さくな方が多く、初めて来たお店でも常連になったような居心地の良さがあります。少しのつもりが1時間に…。(須飼秀和)



すがい・ひでかず 1977年明石市出身。日本の原風景や人びとの営みに映る郷愁をテーマに描く。著書に『私だけのふるさと』『うなぎのうーちゃんだいいぼうけん』(福音館書店)等。毎日新聞朝刊(兵庫版)にも連載をしている。

●Yaomania第11号(秋増刊号)は10月下旬発行 乗り物の楽園・八尾

発行=一般社団法人八尾市観光協会
編集=株式会社140B 表紙絵=須飼秀和
デザイン=山崎慎太郎 印刷=図書印刷株式会社
※記事の情報は2015年8月25日時点のものです。

ちいさなパン屋さん

●八尾市山本町北6-13-23
☎072-992-8010
8:00～19:00
日祝・第3水曜休
商品は約40種。「店の人
がやさしくて親切。近くに
手作りパンの店があるのは
うれしい」という声、多数。



「ごぼうセサミ」130円。シャキシャキのごぼうサラダと黒ごまたっぷりの生地がよく合っていて、食べごたえも十分



「メロンパン」120円。サクサクのクッキーの皮と中のふわふわ生地がバランスいい。焼きたてだとあっという間にペロリだ



「ショコラオレンジ」140円。濃厚なショコラクリームとカスタード、オレンジピールの組み合わせがなんて心地よい甘さかと思う




山本町北ちいさなパン屋さん



「くるみとカマンベール」150円。くるみがふんだんに入った生地であっつりのカマンベールチーズを包んである。クセになるおいしさ

駅から離れた住宅地にパンの職人。こんな静かな場所で大丈夫かと思ってしまうが、心配無用だった。お客さんが次々現れてはお客様目当てのパンを買っていく。棚には予約済みの食パンが行儀よく並んでいて、地域に愛されている店であることが一目瞭然だ。地元で生まれ育った門野年宏さんは仕事先の徳島県で食べたパンに感動し、まったく職種が異なるパン職人に転職を決意。「食パンが評判の店で、自分もおいしいパンを作りたい」と思い、徳島のその店で修業しました。それまで料理すらしたことなかったんですよ(笑)」。奈良県の有名手作りパン店でも働き、4年前に実家のすぐ近くに店を構えた。「夫婦2人なので、繁華街ではとても対応できません。小さくても地域に喜んでもらえる店が自分たちに合っていると었습니다。実際、うちの商圏は

半径50メートルぐらいなんです。店名もわかりやすいでしょ(笑)」。客層の多くを占める年配者に合わせ、フランスパンなどのハード系よりソフトなパンを重視。強力粉だけでなく生地の粘りが強いので、薄力粉をブレンドするなど工夫を重ね、軽くてさっくりしたパン生地に仕上げた。「おいしいものを手軽に。そのためには馴染みや

すい商品を心がけています。この生地のもうひとつの特長は、冷やすとしっかりと感が強調され、生地本来のうまみが味わえること。暑い時期は冷蔵庫で冷やしてみてください」。若夫婦の仕事ぶりは実に真摯で、応援したくなる。街とともに育つ店とはこのような店のことを言うのだろうか。取材・文ききむあつこ 写真・中尾あづき